

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/5)

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科	職名	准教授	氏名	ヤスダ 安田 ひろみ
学歴	昭和56年 3月 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業 平成 2年 3月 駒澤大学大学院人文科学研究科(修士課程)社会学専攻修了 平成 3年10月 国立木浦大学島嶼文化研究所(大韓民国)へ留学 日本・文部省アジア諸国等派遣留学制度「平5.9まで」 平成 5年 3月 明治大学大学院政治経済学研究科(博士後期課程)政治学専攻単位取得				
学位	平成 2年 3月 文学修士(駒澤大学)				
専門分野	韓国、民俗宗教、シャーマニズム				
専門資格	キャンパス・ハラスメント相談員(NPO法人NAAH認定)				
所属学会	昭和61年 6月 日本民俗学会 昭和62年 5月 日本文化人類学会 昭和63年 4月 駒澤宗教学研究学会 平成 2年 4月 日本宗教学会 平成11年 朝鮮半島フォーラム 平成12年 「宗教と社会」学会 平成18年 中国ムスリム研究会				
受賞					
担当 授業科目	学 部 初年次演習、総合社会学基礎演習、人類学概論、総合社会学演習 ・ 、現代社会研究演習 ・ ・ ・ 、韓国研究、比較宗教論、プロジェクト科目「京都で宗教しよう！」(春学期・秋学期の2コマ)				
論文指導	論文指導担当[主査](卒論：2名)				
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数	
	プロジェクト科目「京都で宗教しよう！」	講義・演習・実習・実験	春・秋	15名/15名	
	授業の概要： 京都の寺社に関するレポートを執筆、現地調査を経てレポートにまとめる。前期は八坂神社、後期は伏見稲荷大社				
	教育活動の振り返り： 現地調査が不十分。報告書製本等の作業への関与度にばらつき。 教育活動の成果： 各学生の関心度と個性を生かしたレポートが書けた。 今後の課題： より地域と密着した活動ができるようプランを考慮する。				
	・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 平成26年12月 6日 京都文教大学地域協働研究教育センター開設記念講演会「ソーシャルデザイン：地域課題を解決する創造的手法」(issue+design代表 寛裕介氏) 平成26年12月20日 ともいき(共生)フェスティバル(於：京都文教大学) 平成27年 1月16日 湖西大学生12名及び金居教授と交流(着物・日本食体験) 平成27年 2月18日 COC研修 2014年度京都府南部地域まちづくりミーティング ~ともいき(共生)のまちづくり~(於：京都文教大学) 平成27年 2月19日 COC 2014年度京都府南部地域まちづくりミーティング「地域と共に育つ大学づくり ~産官民学の協働に向けて~」国際交流セッション担当(於：京都文教大学) 平成27年 3月 5日 COC共同研究成果発表会に出席				

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/5)

<p>F D 活 動 ・ 教 育 実 績</p>	<p>・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等</p> <p>平成26年 6月14～15日 国際日本文化コース新入生合宿(於：あうる京北セミナーハウス)</p> <p>平成26年 7月 5日 プロジェクト科目学外授業(於：八坂神社)</p> <p>平成26年 8月25～30日 学生課主催 福島ボランティア・ツアー参加</p> <p>平成26年 9月 2～6日 学生課主催 還愚セミナー参加</p> <p>平成26年 9月27日 「民音の会」コンサート(於：上京区豎町・法華寺)出席(サークル顧問)</p> <p>平成26年10月15日 総合社会学部/学生課主催 公開講演会「伝統行事の復興と再創造 福島県 相馬地方 野馬追に生きる人々 千年の歴史と伝統」出席</p> <p>平成26年10月22日・12月17日・1月21日 アカデミー・アワー</p> <p>平成26年11月22日 プロジェクト科目学外授業(於：伏見稲荷大社)</p> <p>平成27年 1月25日 高齢者アカデミー2期生新年会参加</p>
<p>H26年度 研究課題</p>	<p>1. マレーシアの大学教育事情 2. 中国側視点からのウイグル史 3. 韓国のイスラーム 4. 北アイルランドの Troubles</p>
<p>研究活動の概要 (平成二十六年 2014)年度の</p>	<p>韓国のイスラーム教徒に関する現地調査実施 ウイグル史に関する文献研究</p>
<p>平成二十六年 (2014)年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <p>(論文)</p> <p>(学会報告、学会活動) 学会等参加： 平成26年 9月 日本宗教学会第73回学術大会、於：同志社大学</p> <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) エッセイ： 1. 「いのちを死の深淵から救うもの」、単著、平成27年3月、京都文教大学学生課 東日本大震災復興支援活動(福島県相馬支援活動)報告書2014(pp.56-57)</p> <p>(調査活動) 平成27年 3月13～17日 韓国ソウルで現地調査 梨泰院イスラム地区で、 中央マスジッドの李東楚氏にインタビュー(韓国人ムスリム1世のライフ・ヒストリー) ハラール・ショップのパキスタン人店主らに近年の変化についてインタビュー 韓国人向けハジ巡礼ツアー 韓国食品のハラール化、ハラール食品についての政府、食品メーカー、飲食店組合の活動についての調査等</p> <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>(学内活動) 初年次演習コーディネーター、地域協働研究教育センター会議委員、学科運営委員、宇治高齢者アカデミー2期生担任、6/22 オープン・キャンパス担当、「民音の会」顧問、湖西大学留学説明会(5/23)、3/15 湖西大学訪問(金居教授と交換留学生・制度について面談)</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/5)

平成二十六年(2014)年度の社会における活動	<p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPO法人ヒマラヤ保全協会会員「平8より」 <p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成26年12月 大阪府警「新疆ウイグル自治区におけるウイグル族の現況」、於：同署</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Korea Foundation フェロー「平7より」 ・ 「NCTC(日本サイクル・ツーリスト・クラブ)京都」会員「平21.4より」 <p>平成26年11月 韓国・東西大学訪問(ビジネス・ブレイク・スルー大学とのインターネット共同授業についての打ち合わせ)</p>
平成二十一～二十五(2009～2013)年度の主な研究成果等	<p>(著書)</p> <p>(論文)</p> <p>(学会報告、学会活動)</p> <p>学会等参加：</p> <p>平成22年度 明治大学社会構造研究会月例会</p> <p>平成22年 6月 「宗教と社会」学会研究大会、立命館大学</p> <p>平成22年 9月 中国ムスリム研究会分科会</p> <p>平成23年 5月 日本中東学会第27回年次大会、京都大学吉田南キャンパス</p> <p>平成24年 7月 日本トルコ文化協会主催研究会「第110回トプカプさろん」、於：京都大学 テーマ「ドイツ在住トルコ系移民の社会的統合に向けて ドイツ社会とトルコ系移民の関係変化」(京都文教大学・客員研究員・石川真作)</p> <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>報告：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「専門家の支援とは異なる『数値化できない若者力』」、単著、平成23年11月、京都文教大学人間学部文化人類学科・学生課、京都文教大学東日本大震災復興支援ボランティア・相馬2011年度活動報告書(pp.48-49) 2. 「廃墟の復活と伝統への誇り」、共著(当該部分担当)、平成26年3月、京都文教大学総合社会学部・学生課発行、「東日本大震災復興支援 福島県相馬市支援活動 2013年度活動報告書」(pp.62-63, 68p) <p>エッセイ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「自転車依存症の多様な側面」、単著、平成23年5月、「NCTC京都」事務局編集・刊行、NCTC50周年記念誌(pp.70-73) <p>執筆協力：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「第7講 食の楽しみ 美味しいものとは？何が食べ物なのか?」、共著(当該講担当)、平成26年、栄文堂、『総合社会学ガイドブック 社会をのぞく15の方法』(pp.59-64) <p>(調査活動)</p> <p>平成22年 3月 韓国ソウル中心部</p> <p>平成23年5月・8月 福島県相馬市、相馬郡飯舘村、隣接の宮城県沿岸部等での3回にわたる訪問調査(全村避難となった飯舘村長泥地区では、村長へのインタビュー調査および避難後借り上げ住宅や宿泊施設で生活する避難者への追跡調査)</p> <p>平成23年 9月 梨泰院のムスリム地帯の継続調査</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/5)

平成二十一〜二十五 (2009〜2013) 年度の主な研究成果等	<p>(調査活動)</p> <p>平成24年 3月 在トルコ・ウイグル人の現状調査およびアレヴィー団体の調査 (在イスタンブル韓国人の現状調査、韓国人教会、在トルコのウイグル人組織であるウイグル・アカデミーを訪問) 於: トルコ共和国イスタンブルおよびハジベクタシ</p> <p>平成24年 8月・9月 韓国人教会および現地日本人社会に関する調査、於: トルコ共和国イスタンブル</p> <p>平成25年 9月21日- 9月25日 韓国ソウル及び忠清南道牙山市 都市としてのソウルの変化および光復記念館等反日事情調査、ソウルのイスラーム・コミュニティへの調査</p> <p>平成26年 3月12日- 3月18日 中華人民共和国 新疆ウイグル自治区 ウルムチおよびカシュガルにおいて漢族・ウイグル族の関係を観光事情・教育面から調査</p>
	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成21年度 教育GPプロジェクト・文化人類学入門リレー講座「食物タブーを考える」</p>
	<p>(学内活動)</p> <p>平成17年 4月 人権委員会委員「平23.3まで」</p> <p>平成21年 4月 国際交流委員会委員・委員長「平23.3まで」 入試実行委員「平22.3まで」 研究員派遣調整委員「平22.3まで」</p> <p>平成21年 韓国・湖西大学との交流協定に関する交渉 韓国・木浦大学との交流に関するフィージビリティ・スタディ(3月訪韓中に) 「まな旅」委員「平22.3まで」</p> <p>平成22年 1月 韓国・湖西大学学生10名の京都研修を引率・案内</p> <p>平成23年 4月 15周年記念事業委員会委員「平24.3まで」 オープン・キャンパス委員会委員「平24.3まで」</p> <p>平成24年 4月 自己点検・評価 学生サービス委員会委員「平25.3まで」 キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員(オブザーバー)「平25.3まで」 学生委員会副委員長「平25.3まで」 国際交流委員会委員「平26.3まで」 学生相談室運営委員会委員「平25.3まで」 初年次演習コーディネーター「現在に至る」</p> <p>平成25年 4月 自己点検・評価 教育研究専門委員会委員「平26.3まで」 教務委員会委員「平26.3まで」 キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員「平26.3まで」</p>
<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成25年12月 マレーシア政府観光局の招待によるマレーシア教育事情視察旅行</p> <p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成 8年 NPO法人ヒマラヤ保全協会会員「現在に至る」</p> <p>平成23年 8月-9月 NPO法人「フー太郎の森基金」の復興支援に協力、於: 福島県相馬市松川浦等相馬市内での在宅避難者を支援する本学の学生14名、教職員4名に随行・活動</p>	
平成二十一〜二十五 (2009〜2013) 年度に おける活動	

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/5)

平成二十一～二十五(2009～2013)年度の社会における活動

(小中高との連携授業の講師)

- 平成21年 6月 大学コンソーシアム京都・高大連携プロジェクト 出張授業、於：京都市立西京高等学校 (全4回)
- 平成21年 9月 大学コンソーシアム京都・高大連携プロジェクト 出張授業、於：奈良県立平城高等学校
- 平成22年 5月 高大連携プロジェクト 本学において高校生への模擬授業「タイの政治と宗教」
- 平成22年 8月 韓国・湖西大学の学生の京都研修を、本学の同大短期留学希望学生5名と共に引率・案内
- 平成23年 7月 追手門高等学校、「食物タブーを通してみた食文化の謎」
- 平成25年 6月 京都文教高等学校ALP「世界の宗教を考える」、於：同校
- 平成25年 9月 京都文教高等学校ALP「国際日本文化コース紹介」、於：同校

(自治体や企業における研修等の講師)

- 平成21年11月 JTBとの提携による修学旅行プロジェクト「まな旅」で宇治を案内
- 平成24年 7月 「現代ウイグル情勢と中国政府の対応」(大阪府警察本部外事課による依頼)、対象：同本部・郷野雅則警部
- 平成25年11月 ウイグル情勢講義「中国関係史と現在の対峙」、対象：大阪府警外事課、於：大阪府警

(その他)

- 平成 7年 Korea Foundation フェロー「現在に至る」
- 平成21年 4月 「NCTC (日本サイクル・ツーリスト・クラブ) 京都」理事「現在に至る」
- 平成22年 6月 オープン・キャンパスにおける模擬授業「人類学で解く食のタブー」
- 平成23年 8月 テレビ東京系列番組『珍ルールSHOW』において「韓国の死後結婚」に関するパートの監修を担当
- 平成24年 7月 キャンパス・ハラスメント相談員研修 (NPO法人「アカデミックハラスメントをなくすネットワーク」(NAAH) による)